

編集後記：このたび、日本気象学会2008年度春季大会の実行委員会委員を仰せつかりました。本大会は独立行政法人海洋研究開発機構と防衛大学校が中心となって運営し、横浜が会場となりますが、意外にも横浜での開催は初めてだそうです。国際会議でおなじみの、みなとみらい地区ではありませんが、中華街、山下公園には近いところです。

私の担当は、私にはこれしかできないという懇親会幹事です。当然、会場は中華街でしょう。ところが会場探しは少し苦勞しました。インターネットの検索のおかげで何軒かの候補はすぐに見つかりましたが、実際訪問してみると、主に個人客がターゲットで大人数の懇親会はあまり取り合ってくれません。受付の方がみんな中国人で、話がうまく通じないということもありました。一番困ったのは（自分の所為なのですが）飲み過ぎて出費が高んだということでしょうか。なんとか、とあるホテルの宴会場に決まりました。

会場を探す前に、会場の規模を決めるために過去数年の懇親会の参加状況を調べてみました。多いときは

200名を超す参加がありましたが、平均すると180名ぐらいでしょうか。驚いたのは、そのうち学生の方は10名程度という少なさです。料理が貧弱であるとか、結局学生同士で集まってしまい居酒屋で飲んでいるのと変わらないとか、理由はいろいろ伺っております。学生の方がどん欲に接触しないのがいけないと言ってしまえばそれまでですが、一般の方が話に加わりやすい雰囲気作りをしていないとも言えるかもしれません。

一般の方のご理解を賜ることを前提としておりますが、学生の方には出血大サービスの会費設定を断行いたしました。いつも仏頂面で近づきたい先生や、鼻息荒く研究発表している大先輩も、話をしてみると意外や気さくで面白い人だったりします。そんな思いがけない発見や出会いがあるのが懇親会です。私の出費が無駄にならないよう、一般、学生の方を問わず、たくさんの方のご参加をお待ちしております。（「天気」とは関係ない話でしたね。）

（中西幹郎）